

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 ポーランド共和国 



【表紙の写真】

(右上)「連帯」運動を指導してポーランドを社会主義から脱却させたレフ・ヴァウエンサ (Lech Wałęsa) が、ノーベル平和賞を受賞した時の写真

(左下) ポーランド最大の港湾都市グダńスク (Gdańsk)。造船所で有名な街でドイツ語名のダンツィヒ (Danzig) という名でもよく知られています。

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜポーランド共和国?

第1章 ポーランドってどんな国？

＝苦難の歴史から自由をつかみ取り

明日を夢見る国＝

- 05 ポーランドを探せ!
- 07 ウソ・ホントクイズ
- 09 世界遺産リスト
- 11 ポーランドにすむ動物たち
- 13 「口福」のポーランド?!
- 15 ちょっとブレイク ～知っておきたいポーランド語～

第2章 ヘエ～！ポーランドと日本

- 17 ポーランドの常識・非常識!?
- 19 日本でも有名なポーランド人
- 21 ポーランドのクリスマス
- 23 ちょっとブレイク
～ポーランドが日本びいきな理由～

第3章 一緒に考えよう！こんな課題

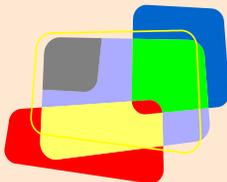
- 25 公害をなくそう!
- 27 アウシュビッツ収容所
- 29 ちょっとブレイク
～カトリシズムと宗教的「寛容さ」～

第4章 そして未来へ

- 31 ランキングで考える元気な地球のつくり方

★参考資料★

- 35 目で見るポーランド
- 37 ポーランド地図
- 39 参考文献・データ等の出典
- 39 ご協力いただいた方たち
- 39 2010年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい!!つなげていきたい!!
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起こっていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起こっていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえるようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ポーランドのほんの一面です。本書だけでポーランドのすべてがわかるわけではありません。ポーランドに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一ロコラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムでマジックを使います。



プログラムのねらいです。



プログラムで付箋を使います。



ちょっとブレイク！一ロコラムです。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



データ等の出典です。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



写真の撮影者です。



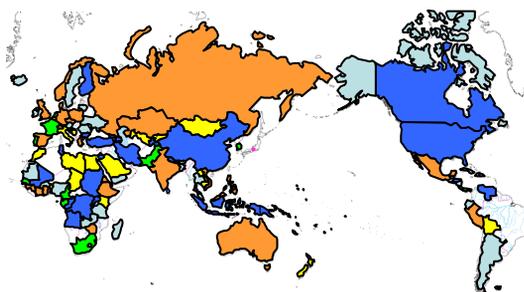
なぜポーランド共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国防レンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国防レンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国防レンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。そして、**ポーランド共和国**のホームシティは、**蒲郡市**でした。



愛知万博／ポーランド館

- : 2012年教材作成予定の国
- : 2011年教材作成予定の国
- : 2010年教材作成の国
- : 2009年教材作成の国
- : 2008年教材作成の国

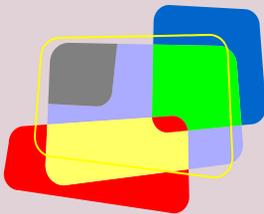
2011年作成 予定国 (31カ国)	アルメニア共和国 インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタン共和国 カタール国 ギニア共和国 ギリシャ共和国 コートジボワール共 和国 ジブチ共和国 ジンバブエ共和国 スイス連邦 スペイン王国 チェコ共和国 ツバル デンマー ク王国 ドイツ連邦共和国 ノルウェー王国 パヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベト ナム社会主義共和国 ペルー共和国 ポーランド共和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆 国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共 和国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン 共和国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジ ア共和国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共 和国 マーシャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共 和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア 王国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会 主義人民ジャマ・ヒーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベ ナン共和国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共 和国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国



第1章

ポーランドってどんな国？

= 苦難の歴史から自由をつかみ取り
明日を夢見る国 =



ポーランドを探せ！

❓ ポーランドという国を知っていますか？

みなさんはポーランドをどのくらい知っていますか？よく知っている人もいるかもしれませんが、名前は聞いたことがあっても場所がわからない人が多いのではないのでしょうか？

自信のない人は下のヒントを参考にして、自信のある人はヒントで確認しながら、ポーランドだと思うところに色を塗ってみましょう。

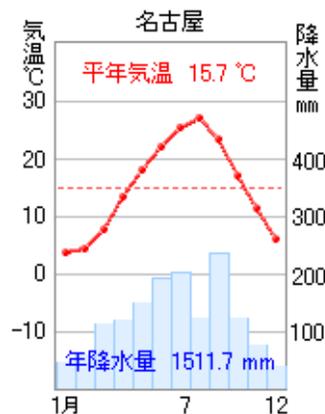
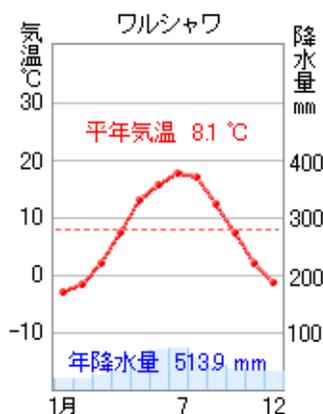


💡 ヒント1 ポーランドは7つの国と国境を接しています。

💡 ヒント2 ポーランドの北側の国境には海があります。

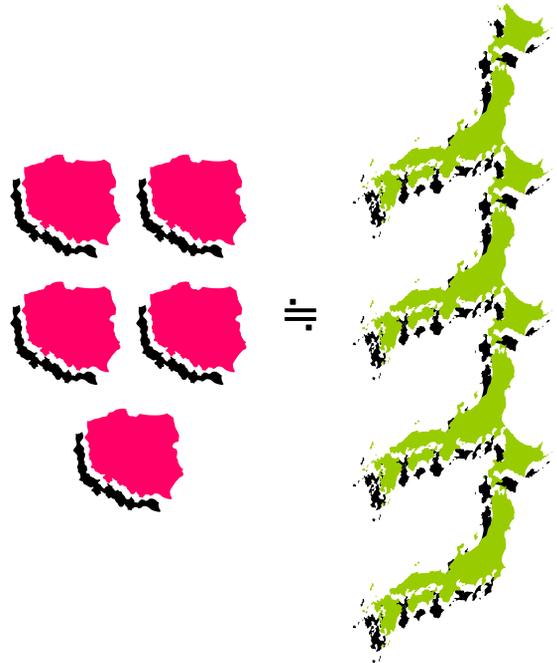
💡 ヒント3 日本との時差は「マイナス8時間」です。

💡 ヒント4 ポーランドの首都ワルシャワと名古屋の雨温図（気温と降水量のグラフ）



💡 ヒント5 ポーランドはヨーロッパの中心にあります。

💡 ヒント6 ポーランドの面積は日本の約5分の4です。



面積は日本の約5分の4

※:国内地図はP.37

各ヒントの解説



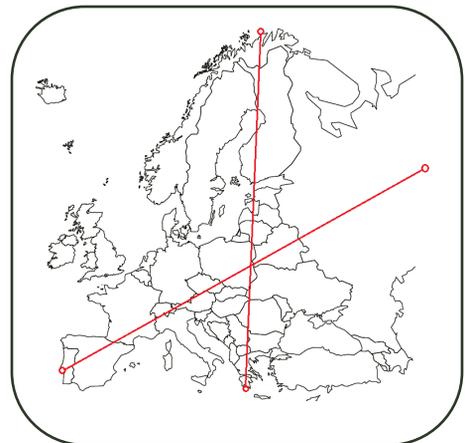
ヒント1・2 ポーランドの北側には、大西洋とつながっているバルト海があります。そして、北東から時計回り順に、ロシア(カリーニングラード)、リトアニア、ベラルーシ、ウクライナ、スロバキア、チェコ、ドイツと国境を接しています。



ヒント3 ポーランドには東経15度の経線が、日本は東経135度の経線がそれぞれ標準時子午線となっているので、日本との時差は「マイナス8時間」です。つまり日本が正午の時、ポーランドは午前4時になります。ただし、ポーランドではサマータイム制を採用しているので、夏時間の時差は「マイナス7時間」となります。



ヒント5 まず、ヨーロッパの最西端であるポルトガルのロカ岬から、最東端であるロシアのウラル山脈まで線を引きます。次に最北端であるノルウェーのノールカップ岬から、最南端であるギリシャのテナロン岬まで線を引きます。この2つが交わる場所がヨーロッパの中心となり、ちょうどポーランドの首都ワルシャワの近くにあります。



ヒント6 ポーランドの面積は32.3万km²で、日本の約5分の4(日本から九州、四国を引いた程度)の大きさです。

ウソ・ホントクイズ

① ポーランドってどんなところなのでしょう？
歴史や今あるものたちに関するクイズで、ポーランドについて知ろう。

① ポーランド語では、
ポーランドのことを「ポ
ルスカ」という。



② ポーランド人作曲
家の作品には、1時間
を超える「交響詩～或
る女の一生～」という
曲がある。



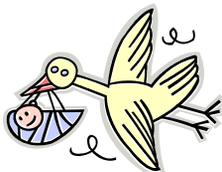
③ ポーランドには世
界一背の高いキリスト
像がある。



ポーランドには、人
間が木を切り倒したた
めにできた砂漠がある。



⑤ ポーランドには1
万5000羽のコウノトリ
が生息している。



⑥ ポーランドは戦争
による被害がほとんど
なく、今でもそのまま
古い町並みが残され
ている。



⑦ ポーランドは占領
されて国がなくなった
ことがある。



⑧ アルコール度数
の高さから、世界最強
といわれるポーランド
原産のお酒がある。



⑨ ポーランドの世界
遺産は、日本より多い。
(日本の世界遺産は
14件:2011年1月現
在)



ポーランドの人口は約3820万人で、統計上はヨーロッパ人の20人に1人がポーランド人となります。また、ポーランド人の平均年齢は35歳と非常に若く、国民の60%近くが40歳未満です。



P.7のこたえと解説です。



ポーランドについて、いろんな角度からの情報を知り興味を膨らませよう。

- 1 **ホント** ポーランドはポーランド語でRzeczpospolita Polska (ジェチュポスポリタ・ポルスカ)。通称「ポルスカ (Polska)」と呼ばれます。ポルスカの語源は野原を意味する「ポーレ(pole)」だと言われています。ジェチュポスポリタは共和国という意味です。
- 2 **ウン** ポーランドの作曲家ボグスワフ・シェツフェルの作品には、1時間どころかなんと100分を超えるものがたくさんあります。が、そのうちのひとつのタイトルは「交響詩～或る町の一生～」(1999年)といひます。1990年代の大作には、「ピッコロヴァイオリンのための主題のない変奏曲」(1993年)、「15人の独奏者とオーケストラのための(シンフォニア/コンチェルト)」などがあります。上述の作品は、いずれも演奏時間が110分という超大作です。
- 3 **ホント** 2010年11月6日、これまで世界一高かったブラジル・リオデジャネイロのキリスト像を抜く高さ36メートルのキリスト像が、ポーランドのシフィエポジンに登場しました。プロジェクトを立ち上げたザヴァツキ神父は、「世界一の像を目指したわけではない。キリストの33年の生涯と同じ33メートルの像にしたかったのだ」とか。最後に金色の王冠を載せたところ、リオの像を抜いて36メートルになったそうで、台座部分を含めて51メートル、両手の端から端までは24メートルあるといひます。
- 4 **ホント** ポーランド南部のカトピツェ近くにブウェンドフスカ砂丘という砂漠があります。この砂丘は気候によってできたものではなく、人間の活動によってできました。中世は森だったのですが、製錬所の溶鉱炉にくべる燃料として、また鉱山で支柱として使うために、たくさんの木が切り倒されました。すると一帯は植物が育たない土に変わってしまい、砂漠となりました。広さは約32km²。第二次世界大戦中は、ドイツ・アフリカ軍がサハラ砂漠へ送り込まれる前に、ここで訓練をしていたそうです。
- 5 **ウン** ポーランドでは各地で様々な種類の鳥を見ることができます。なかでもヨーロッパコウノトリの巣はどの国よりも多く、屋根の上、塔、煙突、電柱、木のほか、鳥が巣をつくるために建てられた塔に、コウノトリの巣がつくられています。世界中のコウノトリのうち、4羽に1羽(約4万羽)がポーランドに生息していると考えられています。また、オジロワシ(別名:ウミワシ)はポーランド最大の猛禽類で国の象徴ともなっています。オジロワシを見るのに最適な場所は、西部のヴァルタ国立公園です。
- 6 **ウン** 首都ワルシャワは何度も戦争の悲劇にみまわれました。特に第二次世界大戦中のドイツ軍に対する一斉蜂起では、20万人が命を失い、市の大半が破壊されてしまいました。しかし、第2次大戦後に復旧作業にとりかかり、古い写真や絵・図面などをもとに壁のひび一本まで忠実に再現したといひます。こうして、旧市街は昔のままの美しい街として再建され、現在もその状態が保たれています。
- 7 **ホント** 一時は黄金時代と呼ばれる華やかな時期もありましたが、17世紀に入って以降他国からの攻撃により領土を失いはじめ、1795年には全国土がロシア・プロイセン・オーストリアの3国に分割されました。それから123年間、ポーランドは国としての存在を失いました。
- 8 **ホント** ポーランドを原産地とするお酒「スピリタス」は世界最強のお酒として知られています。最強の理由は、そのアルコール度数にあります。ビールが約4～5度なのに対し、スピリタスは96度という高アルコール度数。これ以上度数を上げるのは不可能だそうです。一般的にはカクテルにつかわれたり、水で薄めたり、果物を漬け込んで果実酒を作ったりするそうです。また、家庭用消毒液として常備する家庭も多いようです。
- 9 **ウン** ポーランドには全部で13件の世界遺産があります。(→P. 9～10)



世界遺産リスト

② ポーランドには12の文化遺産と、1の自然遺産(ピンクの枠)があります。
写真と説明を読んで、どんなことを感じましたか? ポーランドという国はどんな国だと思いましたか?

A ヴィエリチカ岩塩坑(1978年登録)

現在も操業を続けている岩塩坑としては世界最古のものです。坑道は、深さが地下327m、全長は300km以上もあります。



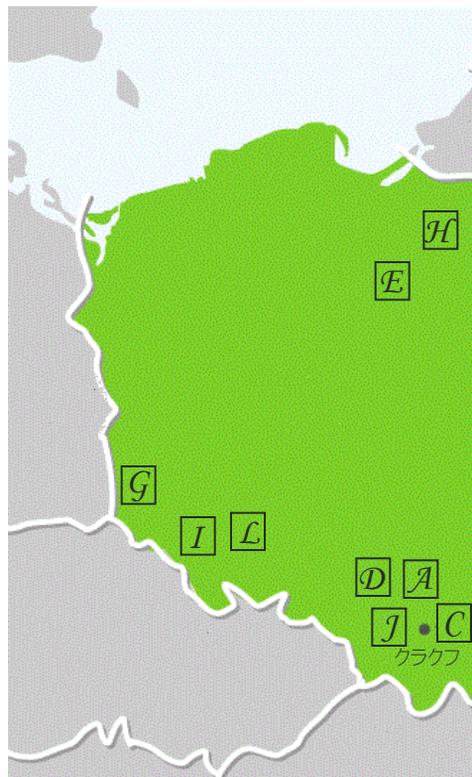
B ザモシチ旧市街(1992年登録)

ザモシチは、1580年にポーランド・リトアニア連合のポーランド王国の宰相であったヤン・ザモスキが建設した町です。後期ルネサンス建築が完全な状態で残っています。



C クラクフ歴史地区(1978年登録)

ポーランドの主要都市は、第二次世界大戦の戦災で多くが被害を受けましたが、クラクフは比較的被害が少なく、旧市街には旧王宮であったヴァヴェル城、聖マリア教会、織物会館などの歴史的な建造物が多く残されています。



D アウシュビッツ強制収容所(1979年登録)

第二次世界大戦中にドイツのナチ政権が国家をあげて推進した人種差別的抑圧政策により、造られた強制収容所です。人類の負の世界遺産として世界遺産に認定されました。



E トルニの中世都市(1997年登録)

ポーランドを南北に流れるヴィスワ川沿いにある中世の姿をそのまま残す街です。14世紀から15世紀にかけて重要な商業中心地となり、ポーランド最大規模の都市の一つとなりました。



F ワルシャワ歴史地区(1980年登録)

ワルシャワの旧市街は13世紀に建設されました。19世紀にはワルシャワの急速な発展により旧市街は貧困層の集まる地域となりましたが、第一次世界大戦後に再び旧来の姿を取り戻すべく再建が進められましたが、第二次世界大戦によって再び荒廃しました。戦後、再び再建が始められ1970年代に現在の旧市街の姿となりました。



G**ムスカウ公園(2004年登録)**

ドイツとポーランドの間を流れるナイゼ川にまたがる面積560haのイギリス式庭園です。

**H****マルボルクのドイツ騎士団の城(1997年登録)**

マルボルク城は、ドイツ騎士団によって1274年に建設された城です。

**I****ヤヴォルとシフイドニツアの平和教会群(2001年登録)**

17世紀半ばに建築された、ヨーロッパ最大級の木造宗教建築物です。

**J****カルヴァリア・ゼブジトフスカ: マニエリスム様式建築と公園が織りなす景観および巡礼公園 (1999年登録)**

カルヴァリア・ゼブジトフスカは、17世紀初頭に地元の有力者ミコワイ・ゼブジドフスキが、この地をキリスト受難の丘であるゴルゴタに見立ててマニエリスム建築様式の宗教的建造物群を建てたところから始まりました。

**K****南部小ポーランドの木造聖堂群 (2003年登録)**

マウオポルスカ地方(小ポーランド)南部にある木造聖堂群(6つの木造聖堂)です。

**L****グロツワフの百周年記念ホール(2006年登録)**

ライプツィヒの戦い(諸国民戦争、ナポレオン戦争における最大規模の戦闘でナポレオンによるドイツ支配の終焉となった戦い)の100周年を記念する展示会のために、1911年から1913年にかけて建造されたコンクリート建築物です。

**M****ビャウォヴィエジャの森(1979年登録)**

1992年拡大、ポーランドとベラルーシの国境にまたがるヨーロッパ最後の原生林といわれる森です。全世界で1000頭しかいないヨーロッパバイソンの生息地として知られています。



ポーランドにすむ動物たち

② いろいろな生き物がすんでいるポーランド。
彼らの生活の安全はどのように守られているのでしょうか？

① ヨーロッパの中でもポーランドは、湿地帯や森林などの自然の生息環境が広範囲に残っている数少ない国のひとつです。ヨーロッパの中心ということもあって、ポーランドにはヨーロッパ全域の野生生物の種が混在しています。下の動物の写真を見てください。これらの動物たちはすべてポーランドにすんでいます。それぞれ動物の名前がわかりますか？



A ヤマガラ



B ○○



C ヨーロッパ○-○-



D ヨーロッパ○○○○



E オ○○○



F ヨーロッパオオ○○○○



G ○○○トリ

- ② みなさんはいくつわかりましたか？
実はいくつかの動物はかつて絶滅危惧種でした。またいくつかの動物は、現在も絶滅の危機に瀕しています。ポーランドと絶滅危惧種に関する文章（→P.12）を読んでみましょう。
- ③ 感想を話し合ってみましょう。



ヤツガシラ (hoopoe:フーパー) は、その特徴ある3回続くホーホーという鳴き声から名づけられました。気分によって扇のように開くとさかが目を引きまます。



P.11のこたえと解説です。



ポーランドにすむ動物を通して、絶滅危惧種について考える。

- A ヤツガシラ B ワシ C ビーバー D ヨーロッパバイソン
 E オオカミ F ヨーロッパオオヤマネコ G コウノトリ

絶滅危惧種の保護

過去100年間で、ポーランドの農村地帯は戦争と重工業のもたらす汚染によって深刻な被害を受けました。その結果、大部分の野生生物が希少になってしまいました。生物学者たちは現在、かつて数多く生息していた動物たちが安全にすめる田園地帯をつくることに取り組んでいます。そしてほとんど絶滅に近い状態だった種のいくつかを、人の手で飼育して自然の生息環境へかえすことに成功しています。ヨーロッパバイソン、ヘラジカ、オオヤマネコ、ビーバーです。現在、国土の28%はなんらかの方法で保護されています。これには23の国立公園と、比較的小規模な1269の自然保護区も含まれます。また、渡り鳥の生息地となる100の野鳥保護区域も国内にあります。このような対策をとっていても、ポーランドはまだ多くの課題を抱えており、国内にヨーロッパでもっとも汚染度の高い地域があります。

ポーランドにすむ絶滅危惧種

ポーランドには、ヨーロッパ大陸のほかの地域でもほとんど見られなくなった、特有の種もすんでいます。野生のウマ、ヒグマ、シャモア(ヤギ)などです。

ポーランドはヨーロッパオオヤマネコの生息地でもあります。これは大型のネコ科の動物で、しっぽは短く、大きいもので36kgほどになります。ヨーロッパオオヤマネコは深い森林にすんでいます。一番よく見られるのは、カンピノス国立公園です。また、ヨーロッパビーバーという生き物もいます。かつてはその厚くて防水性のある毛皮を目的として捕獲されていたため、数が非常に少なくなっていました。今では法律で保護されています。しかし、ポーランドにも他のヨーロッパ地域にも自然のままの森はあまり残っていないので、ヨーロッパビーバーは今でも希少な種なのです。

帰ってきたバイソン

バイソンはかつてヨーロッパの森でよく見る動物でした。しかし、19世紀中ごろに200万頭いた野生のヨーロッパバイソンは、1914年にはわずか700頭まで減ってしまいました。そして、最後の野生のバイソンが1919年に死んでしまいました。

しかし幸運なことに、バイソンは絶滅していなかったのです。飼育されているバイソンがいて、そのバイソンが子どもを産み、数が増えていきました。1952年に数頭からなるグループがビャウオヴィエジャの森に放されました。現在、バイソンはポーランドのいくつかの森にすみ、ほとんどは野生にかえりました。世界中にいる3000頭のバイソンのうち、2000頭がポーランドの森にすんでいます。

国立公園で保護される動物たち

ポーランドでもっとも貴重な野生生物の生息地は、国土面積の1%にあたる23の国立公園で保護されています。国立公園にはさまざまな種類の生息環境があります。山岳部に9カ所、高地に2カ所、低地に10カ所ある国立公園が、森林、湖、川、湿地帯を保護しており、沿岸部にも2つの国立公園があります。国立公園はもっとも手厚く保護されている地域ですが、その多くの区域内には、公園の境界が決められるずっと前からあった村が含まれています。

ビャウオヴィエジャの森、タトラ山地、スウォヴィンスキの砂丘など6つの国立公園は、国連の世界生物圏保護区になっています。ビャウオヴィエジャの森は、その中に古くからの村が含まれているため、ユネスコの世界遺産にも登録されています。(→P.10) 特色あるポーランドの国立公園は、旅行者に人気の観光地となりつつあります。



ポーランド好きな鳥コウノトリは、世界中の4分の1が生息しているといわれています。鳥類学者の観測によると、その数はおよそ4万羽だといえます。

「口福」のポーランド？！

① ポーランドではどんなものが食べられているのでしょうか？
自分でも作ってみましょう。

ポーランドでは昔から、よく食べよく飲むことが好まれてきました。古いポーランドの言葉に「あまり食べない者は信用するな。カンシャク持ちか、しっと深いかのどちらかだ。」という教えがあるほどです。(カンシャク:ちょっとしたことにも感情を抑えきれないで激しく怒り出すこと。)

ポーランド料理は多彩で、イタリアやフランスをはじめ、ロシア、モンゴル、アルメニア、リトアニア、ハンガリー、そしてユダヤ料理と、幅広い国々の影響を受けて、それぞれがうまく融合しています。

下にそれぞれポーランドの伝統的な料理の写真と、その簡単な解説があります。
どの説明がどの料理のものでしょうか？

1



A フウオドニク(Chłodnik)

鮮やかなピンクが特徴的なスープ。ビーツ(赤カブ)の甘味とヨーグルトの酸味のかもし出す味はなかなかのもの。栄養学的にも野菜がたくさんはいて健康的です。

2



B ジュレック(Zurek)

ゆで卵とソーセージ入りの酸味のあるスープ。発酵したライ麦を使った料理です。

3



C シャルロトカ(Szarlotka)

リンゴのケーキ。外側はビスケット生地になっていてサクサク、中はリンゴがたっぷりです。

4



D ビゴス(Bigos)

サワークラウトや細かく切った肉を中心にキノコなどを入れて煮込む代表的ポーランド料理。ビゴスには猟師風、リトアニア風などいろいろな種類があり、各家庭それぞれのレシピが母から娘へと受け継がれています。



P.13のこたえと解説です。



ポーランドの家庭料理に触れ、興味を広げよう。

- ① **D** ビゴス(Bigos) ② **C** シャルロトカ(Szarlotka) ③ **A** フウオドニク(Chlodnik)
 ④ **B** ジュレック(Zurek)

伝統料理ピエロギ(Pierogi)

伝統的なピエロギの生地は、小麦、水、卵、塩少々というごく簡単な材料で作ります。ピエロギのことを説明するのに「ポーランド風ギョウザ」という言い方をよくしますが、一般的に思い浮かべる中華風餃子よりも皮が分厚くてモチモチ、作り方からしてもどちらかというと水餃子をイメージしていただく方が近いかもしれません。

夏になるとフルーツ入りのピエロギが食卓をにぎわすようになります。中に入れてあるフルーツはいちご、黒ずぐり、さくらんぼなどさまざま。またポーランドで人気があるのは甘いチーズの入ったピエロギで、干しぶどうが入ることもあります。赤カブのスープ(バルシチ)には、小さなピエロギが具として浮かび、ポーランド北部のスヴァウキ地方に伝わる巨大なピエロギ・ジュムツキェには、マシラクという種類のキノコが詰めてあります。

中でも人気が高いのがキャベツとキノコが入った伝統的なピエロギ。逆さにしたコップで小麦の生地を円形に切り取ってピエロギの皮を作り、ゆでて細かく切ったキャベツとキノコの具をのせます。自然の食材に塩とこしょうのだけの素朴な味わいです。

酢漬けキャベツとキノコのピエロギを作ってみよう！

材料

- 生地: 小麦粉(強力粉) 500g、水 カップ1、卵黄1、
 バター 小さじ1、塩 少々
 具: 酢漬けキャベツ500g、
 干しキノコ(マッシュルームやエリンギでも可) 100g、
 固形スープの素、塩、こしょう、オリーブ油



作り方

● したごしらえ

生地: ボールに小麦粉、塩、卵の黄身、バターを入れてよくこねます。そして、片手でお湯をゆっくり注ぎ入れ、だまにならないようにもう一方の手で混ぜ続けます。少し小麦粉をふるった板に生地をおき、麺棒で伸ばします。
 具: もしキャベツが酸っぱすぎる場合は少々絞って、鍋に水を注いでキャベツを入れます。煮えたら味付けに固形スープの素を少々入れてください。キノコは水でもどして、ゆでます。キャベツを水切りし、細かくきります。キノコも同様です。すべてを深めのボールに移し、オリーブ油を大さじ数杯入れ、塩、こしょうで十分味付けをします。

● 具を包んで、調理

- ①伸ばした小麦の生地から丸い形をコップで切り取り、具を入れて真ん中がふくれた形になるようにとじます。半分に折りかさね、指で縁を押さえていき、半月のような特徴のある形を作ります。
- ②沸騰しているお湯に少しオイルを入れ、浮き上がるまでゆでます。(ボールしてバターをのせても、またボイル後フライパンできつね色になるまで焼いても美味しく召し上がれます。)

Smacznego(スマチネゴ「美味しく召し上がれ」の意味)!



ちょっとブレイク



知っておきたいポーランド語

Dzień dobry. (ヂェイン ドブリイ) こんにちは。

ここで少しポーランド語にふれてみましょう、

ポーランド語は、ロシア語と同じ仲間のスラヴ語派に属しています。そのため、発音がロシア語に似ている単語もあります。

文字はローマ字をもとに作られています。16世紀ごろ、ポーランドの発音に合わせた9つの文字をつけ加えて、全部で32文字のアルファベットができました。

ポーランド語は耳にやさしくひびきます。言葉そのものだけでなくそれを発する人にやさしい心が宿っているからでしょうか?かんたんな言葉を覚えて、ポーランドの人と親しくなりましょう。



まずは1から10まで数えてみましょう。

1 (jeden) イエデン

2 (dwóch) ドヴァ

3 (trzy) チシ

4 (cztery) チテルイ

5 (pięć) ピエンチ

6 (sześć) シェシチ

7 (siedem) シェデム

8 (osiem) オシエム

9 (dziewięć) ジェヴィエンチ

10 (dziesięć) ジェシエンチ



続けて、次はあいさつを声に出して読んでみましょう。

ポーランド語	ポーランド語の発音	日本語の意味
Dzień dobry	ヂェイン ドブリイ	こんにちは
bardzo mi miło	バルヅォ ミ ミイウ	はじめまして
Do widzenia	ド ヴィヅェニア	さようなら
Dziękuję	ヂェインクイエン	ありがとう
Przepraszam	プシェプラシャム	ごめんなさい
Nazywam się	ナジバム チェン	私の名前は～です
Tak	タク	はい
Nie	ニエ	いいえ



どうでしたか?聞きなれない音が多く、難しく感じたかもしれませんね。英語がわかる人でも、英語にないアルファベットにとまどってしまいそうですね。

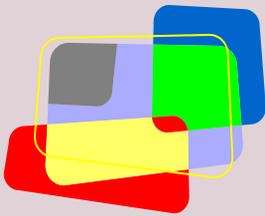
でもこれを覚えれば、きっとポーランドの人たちと仲良く話せるようになりますよ。





第2章

へえ～！ポーランドと日本



ポーランドの常識・非常識！？

① 日本人のわたしたちが常識だと思っていること。ポーランドではどうでしょう？
日本とポーランドの似ているところ、違うところはどこでしょう？

① ポーランドには
誕生日以外に「〇〇
の日」というものがあ
ります。

- A 住所
- B 名前
- C 年齢



② ポーランドでは
1日に〇回食事を
とっています。

- A 2
- B 3
- C 4



③ ポーランドの国旗
は、次の2色で構成さ
れています。

- A 白・赤
- B 白・青
- C 赤・青



④ ポーランドの憲法
記念日は〇月〇日で
す。

- A 2月11日
- B 5月3日
- C 11月3日



⑤ ポーランドには
「〇〇〇・センター」と
呼ばれる施設がある？

- A マンガ
- B アニメ
- C カブキ



⑥ 日本では「アット
マーク」と呼ばれる
“@”、ポーランドでは？

- A カタツムリ
- B サル
- C 小さな犬



⑦ 日本の小学校で
は40分の昼休みのと
ころが多いですが、
ポーランドの公立小学
校は、〇分です。

- A 15
- B 30
- C 45



⑧ ポーランドには
〇〇でできた教会が
ある？

- A はちみつ
- B さとう
- C しお



1 **B** 名前

ポーランドには誕生日以外に「名前の日」を祝う習慣があります。この日は、家族や友人から祝福され、誕生日よりも盛大に祝います。子どもの名前を決めるときに、両親はキリスト教の聖人の名前から選びます。たとえば、「タデウシ」という名前を付けたとします。聖人タデウシの日は10月28日なので、この日がタデウシ君の「名前の日」となるのです。カレンダーや手帳にもたくさん(一日につき3人くらいの)聖人の名前が載っています。

2 **C** 4

ポーランド人は一日に4度の食事をとります。「朝食」は朝7時頃、そして「第2朝食」を午前10時頃に。その後、午後3時頃に一日の中心の食事となる「オヴィヤット」をとります。多くの人は3時に仕事を終わってから、家族そろって「オヴィヤット」を食べるそうです。食卓にはスープ、サラダ、肉や魚のメイン料理、デザートなどフルコースが並びます。そして、夜7～8時くらいに軽い夕食「コラツィア」をとります。ただし、最近では夕食中心に変わりつつあるようです。

3 **A** 白・赤

ポーランドの国旗も日本と同じ2色からできており、上が白、下が赤の旗です。13世紀頃から白いワシと赤い盾がポーランド王国のシンボルでした。第一次世界大戦後の独立運動のときに、白色は「共和国の尊厳」、赤色は「自由のために流された血」を表すものとして国旗に採用されました。

4 **B** 5月3日

日本でも祝日となっている憲法記念日の5月3日。実はポーランドも同じです。1791年に制定された憲法を祝って、通りはたくさんの国旗でかざられます。当時ヨーロッパで初めて制定された憲法で、この憲法はすべての国民の人権を保障した画期的なものでした。

5 **A** マンガ

世界的にも評価の高い映画監督のアンジェイ・ワイダ氏は、少年時代に見た北斎に強い感銘を受け、祖国に浮世絵を展示する博物館を作るという夢を抱き続けました。そして1994年、日本政府・企業などからの支援を得て、浮世絵などの日本美術や技術を展示する「日本美術・技術センター(通称「マンガ・センター」)」をクラクフに設立しました。ポーランドでは、日本研究や日本語教育も盛んに行われており、ワルシャワ大学を始め多くの大学で日本語学科が設置されているほか、ボランティアによる日本語指導や、マンガ・センターでの日本語の授業などを通し、日本語を学習する機会が増えてきています。

6 **B** サル

「commercial at (コマーシャルアット)」が公式名称で、JISでは単価記号という名称が付けられている“@”。日本では「アットマーク」で知られていますが、ポーランドでは「サル」と呼ばれます。ドイツで「サルの尻尾」と呼ばれている影響があるのかもしれませんがね。ちなみに「カタツムリ」と呼ぶ国はイタリアで、「小さな犬」と呼ぶのはロシアです。

7 **A** 15

ポーランドの公立小学校には昼食休みというものはなく、日本の学校のようにお弁当を食べる時間が特に決められていません。おなかですいた人はどの休み時間(15分間)に食べてもよいのです。だから、お弁当で人気なのはサンドイッチなのだそうです。

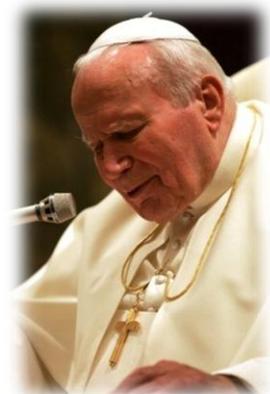
8 **C** しお

ヴェリチカ岩塩坑では900年前から塩が掘り出されています。この中には岩塩の壁に彫刻をほどこした礼拝堂があります。また、坑内最大の空間は音響効果がすぐれており、コンサートに使われることもあります。

日本でも有名なポーランド人

❓ ポーランドの有名人をご存知ですか?知っているもポーランド人だとは知らない人もいるかもしれませんね。ぜひこの機会に覚えましょう。

下にポーランドの有名人の写真と解説を載せました。写真の人物と合う解説を選びA~Dのとなりへ、人物の名前をその下へ書き込んでみましょう。



A ()
()

B ()
()

C ()
()

D ()
()

- 1 前期ロマン派音楽を代表する作曲家。当時のヨーロッパにおいてもピアニストとして、また作曲家として有名でした。その作曲のほとんどをピアノ独奏曲が占め、『ピアノの詩人』とも呼ばれるように、様々な形式、美しい旋律、半音階的和声法などによってピアノの表現様式を拡大し、ピアノ音楽の新しい地平を切り開きました。ノクターンやワルツなど、今日でも彼の作曲したピアノ曲はクラシック音楽ファン以外にもよく知られており、ピアノの演奏会において取り上げられることが最も多い作曲家の一人でもあります。
- 2 天文学者。当時主流だった地球中心説(天動説)を覆す太陽中心説(地動説)を唱えました。これは天文学史上最も重要な再発見とされています。また、教会では律修司祭(カノン)であり、知事、長官、法学者、占星術師であり、医者でもありました。
- 3 物理学者・化学者。ワルシャワ生まれ。女性初のノーベル賞受賞者として有名です。放射線の研究で、1903年のノーベル物理学賞、1911年のノーベル化学賞を受賞し、パリ大学初の女性教授職に就任。放射能(radioactivity)という用語は彼女の発案によるものなのです。
- 4 455年ぶりの非イタリア人教皇にして史上最初のスラブ系教皇。同時に20世紀中最年少で着座した教皇でもあります。神秘神学と哲学の2つの博士号を持っていました。世界平和と戦争反対への呼びかけと、呼びかけだけにとどまらない数々の平和行動の実践、反共産主義と東欧の民主化運動への精神的支援、諸宗教や文化間の対話の呼びかけとその実行、生命倫理などの分野でのキリスト教的道徳観の再提示など宗教の枠を越えて現代世界全体に大きな影響を与えました。特に宗教間の問題に温かな態度で臨み、多くの信者、宗教関係者から尊敬されています。

**A** ④ ヨハネ・パウロ2世

第264代ローマ教皇〈在位：1978年10月16日 - 2005年4月2日〉。本名はカロル・ユゼフ・ヴォイティワ (Karol Józef Wojtyła)。ヨハネ・パウロ2世は「旅する教皇」といわれたパウロ6世を遥かに凌ぐスケールで全世界を訪問し、「空飛ぶ教皇(空飛ぶ聖座)」と呼ばれるほどでした。最初の訪問国メキシコを皮切りに、1981年の日本訪問を含め、2003年9月に最後の公式訪問国となったスロバキアに到るまでに実に世界100ヶ国以上を訪問しています。勉強熱心で、訪問先の言語で簡単な演説をすることでも有名でした。1981年2月23日のローマ教皇として初の来日時には広島市と長崎市を訪れ、(片言ではあるが)日本語で「戦争は死です」と演説し、核兵器の廃絶を訴えました。

また1980年代後半以降の共産圏諸国の民主化運動において、精神的支柱の役割を果たしたともいわれています。特に、冷戦下で共産主義政権下に置かれていた母国ポーランドの民主化運動には大きな影響を与えています。ポーランドは国民の90%以上がカトリック信者であり、教皇が着任8ヶ月後に初めての故国訪問をしましたが、熱狂的歓迎をもって迎えられました。教皇はワルシャワのユゼフ・ピウスツキ元帥広場に集まった人々に「(共産主義政権を)恐れるな」と訴えました。その4ヶ月後の独立自主管理労働組合「連帯」が率いたストライキなどを経て、1980年代後半には民意に押されて政権が民主路線へ転換しました。

B ② コペルニクス

ニコラウス・コペルニクス(1473年2月19日 - 1543年5月24日)。1491年にコペルニクスはクラクフ大学に入学し、従来定説とされていた天動説に懐疑的な見解を持っていた著名な天文学者のアルベルト・ブルゼフスキ教授によってはじめて天文学に触れました。やがて本格的に地動説に傾倒し、天動説では周転円により説明されていた天体の逆行運動を、地球との公転速度の差による見かけ上の物であると説明するなどの理論的裏付けを行っていきました。1616年、ガリレオ・ガリレイに対する裁判が始まる直前に、コペルニクスの著書『天体の回転について』は、ローマ教皇庁から閲覧一時停止の措置がとられました。これは、地球が動いているというその著書の内容が、『聖書』に反するとされたためだったのです。

C ③ キュリー夫人

マリア・スクウォドフスカ=キュリー (Maria Skłodowska-Curie) フランス語名はマリ(マリー)・キュリー (Marie Curie) (1867年11月7日 - 1934年7月4日)。1903年12月、キュリー夫妻(ピエールとマリ)そしてアンリ・ベクレルの3人にノーベル物理学賞を授与する決定を下しました。その理由は「アンリ・ベクレル教授が発見した放射現象に対する共同研究において、特筆すべきたくいまれな功績をあげた事」でした。こうしてマリは、女性初のノーベル賞を授与された人物となりました。そして、さらに1911年11月7日、「ラジウムとポロニウムの発見と、ラジウムの性質およびその化合物の研究において、化学に特筆すべきたくいまれな功績をあげた事」を理由にマリは初めて2度のノーベル賞受賞者となり、異なる分野(物理学賞・化学賞)で授与された最初の人物となりました。

D ① ショパン

フレデリック・フランソワ・ショパン (Frédéric François Chopin, ポーランド名: フリデリク・フランツィシェク・ショパン Fryderyk Franciszek Chopin, (1810年3月1日(諸説あり) - 1849年10月17日)。生涯を通じて肺結核に悩まされた病弱の芸術家であり、残された肖像画などからも赤みがかった頬等、その徴表が見られますが、そうした繊細なイメージとよくマッチした作風のものばかりでなく、情熱的な作風の曲も多く見られます。

幼少の頃からいろいろな面で才能を発揮し、ユーモアにあふれ、ものまねと漫画を描くのが得意で学校ではクラスの人気者だったといえます。後半生は大部分をフランスで過ごしましたが望郷の思いは終生止むことがなく、死後心臓が遺言によりポーランドに持ち帰られ、ワルシャワの聖十字架教会に埋葬されました。故郷を支配する列強への反発心は若い頃から強く、「美しい花畑の中に大砲が隠されている音楽」(シューマン)と評されることも。

また、女性との愛の遍歴も伝説を交えて語られることがありますが、特に女流作家ジョルジュ・サンドとの9年におよぶ交際の間には『24の前奏曲集』、『幻想曲』、『バラード第4番』、『英雄ポロネーズ』、『舟歌』、『幻想ポロネーズ』等数多くの傑作が生まれました。

ポーランドのクリスマス

① あなたはクリスマスをどんな風に過ごしていますか？
90%以上がカトリックのポーランドでは、どのように過ごしているのでしょうか？

さて、みなさんは12月25日が何の日か知っていますよね。そうです。クリスマスです。ご存じのようにこのクリスマスはイエス・キリスト生誕の日であり、キリスト教信者にとってはとても重要な日です。ポーランド人の9割以上はカトリック(キリスト教信者)なので、クリスマスイブはポーランド最大の国民的お祝いの日なのです。

- ① あなたは毎年クリスマスをどのように過ごしていますか？ちょっと思い出してみてください。どんなものに囲まれているのでしょうか？誰とどんな食事をしますか？絵や文章で表してみましょう。
- ② では、カトリックであるポーランドの人たちは、いったいどのようにクリスマスを過ごしているのでしょうか？想像してみてください。そして、資料(→P. 22)を読んでみましょう。
- ③ 想像していたのと比べてどんな違いがあったのでしょうか？
- ④ また、日本のクリスマスと比べてどんな違いがあったのでしょうか？あなたはどちらの過ごし方が好きですか？



クリスマス・クリブは、キリスト降誕の場面を模型にしたものです。よく見るとイエス・マリア・誕生を祝うために東方からやってきた3人の賢者たちの姿があります。



カトリック的クリスマス

多くのポーランド人は一年を通してカトリックの伝統を守っています。それはクリスマスにおいても同じ。国民的お祝いであるクリスマス前の約4週間は待降節と呼ばれ、キリストの降誕祭＝クリスマスに備える期間とされています。この期間は静かに過ごし、チェンストホバにあるヤスナグラ修道院などの聖地を毎年巡礼するそうです。また、11月の万聖節(すべての聖人を記念する日)や6月の聖体節(キリストの弟子がキリストの教えを広めはじめた日を記念する日)には、行列をつくり行進が行われます。



クリスマスコンサートの風景



聖体節の子どもたち

(この儀式を受けることで、正式なカトリック教徒となる)

ヴィギリア

クリスマスイブは、家族で伝統的なヴィギリアとよばれる食事をとり、クリスマスの日が来るのを待ちます。

この食事は、空に一番星が現れるとはじまります。テーブルには幼子キリストがねむる飼葉おけを表す干し草をしき、その上に白いテーブルクロスをかけます。子どもたちは順番に干し草を抜きます。干し草の色が緑色なら幸運を、黒なら幸運ではないことを意味します。ヴィギリアには他にも習慣があります。12種類の料理を用意しますが、肉料理はありません。この食事では動物も人間と平等な客だからです。食事のはじめには、オプワテックという薄い神聖なパンを食べます。その後にはスープ、ピェロギ、魚料理と続いていきます。



クリスマスイブの食卓

ダイオンの皿 ～他人を思いやる心～

ポーランドでは、クリスマスイブの家族団らんの食卓に「ダイオンの皿」といって、もう一人分の皿を用意します。

「もし自分が一人でイブを迎えるようなことがあったら...」と考え、身寄りのない人が訪ねてきたら、歓待しようという意味が込められているそうです。こんなエピソードからも、ポーランドの人たちの「他人を思いやる心」が読み取れますね。





ちょっとブレイク



ポーランドが日本びいきな理由

日本とポーランド、善意と友好の歴史

ポーランドは伝統的な親日国としても有名で、市民レベルでも様々な交流が行われています。その親日感情の源は、日露戦争やロシア革命、第二次世界大戦にさかのぼります。ロシア革命の直後の混乱の中で親を失ったシベリアのポーランド人孤児（政治犯等として流刑になっていたポーランド人の子弟）は、飢餓と疫病の中で悲惨な状態にありました。他の国が顧みなかった孤児たちを救ったのは、日本政府と日本赤十字でした。孤児たちを日本国内に引き取り、元気を回復させポーランドに送り届けました。また、第二次世界大戦中の有名な「命のビザ」によっても、ユダヤ系ポーランド人の多くの命が救われました。これらの美談は、いまでもポーランドの人々の間で語りつがれているといえます。

ポーランド人が日本びいきな理由

■日露戦争 ポーランド人捕虜を手厚く待遇

日露戦争勃発後の1904年7月、ユゼフ・ピウスツキ将軍は、当時ロシアの支配下にある帝政ロシア軍の一部として戦場で戦い捕虜となったポーランド人軍人（約4,600人）への待遇改善を求めた。これに対し、日本政府は、松山市内で終戦までポーランド人捕虜を手厚く待遇した。帝政ロシアを破った日本人に対するポーランド人の好感情は今日まで続いている。ピウスツキ将軍は、第一次世界大戦後、独立ポーランドの初代国家元首。

■ポーランド人シベリア孤児への支援

1920年代初頭、ロシア革命直後の混乱の中で親を失ったシベリアのポーランド人孤児765名を、日本政府・日本赤十字が受け入れ、その後祖国ポーランドに移送した。

■「命のビザ」発給

第二次世界大戦中の1940年、リトアニアの首都カウナス（当時）で日本領事館の領事代理であった杉原千畝氏が、多くのユダヤ系ポーランド人、リトアニア人に日本通過査証を発給。その結果、ナチスの迫害に遭った多くのユダヤ人が、日本経由でアメリカ等第三国に脱出することができた。

ポーランド人氣質：恩義は忘れず、「熱い」

スラブ民族の中でもポーランド人は、情熱的で感情豊かな人々としても知られ、「スラブのラテン」とさえ呼ばれることがあります。この情熱はワルシャワ蜂起にも現れています。情勢が決定的に不利であっても祖国のために立ち上がり、最後まで抵抗し、ワルシャワは壊滅的に破壊されてしまうのですが、そうせざるを得ない「熱い」ところがポーランド人にはあるようです。また、昔の日本の善意ある行動をポーランドの人々には忘れることなく、阪神・淡路大震災の際には、震災児童20余名を二度にわたってポーランドに招待し、ポーランドの家庭で受け入れるなど義理堅いところもあります。

…というように、とても親日的なポーランド。これからもいい関係を続けていきたいですね。

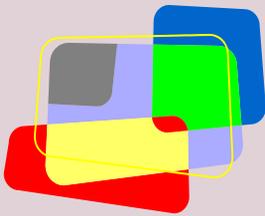


杉原千畝氏



第3章

一緒に考えよう！こんな課題

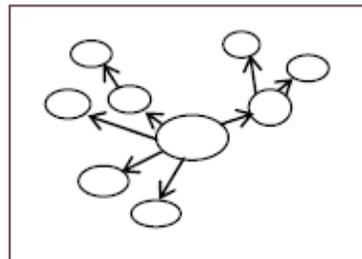


公害をなくそう！

① 緑が多いポーランドでも、公害問題が深刻になっています。どうしたら公害をなくすことができるでしょうか。



- 1 「公害」という言葉から、どんなことを想像しますか？
派生図(*)で考えてみましょう。



派生図

*派生図

ある事柄に関して、連想すること、そこからつながること、または原因などを、まん中から派生させて考え、模造紙に書き出していく方法。個人でもできるが、4~5人のグループになり、協力して書き出してもよい。

- 2 緑の多い国ポーランド。この国では都市部でも街路樹や公園の木々などをよく目にすることができます。郊外にはシカやリスなどが住む自然公園もあります。北部の湖沼地帯や南部の山岳地帯には、森林が広がっています。しかし、以前はもっと緑ゆたかな国でした。国土の40%を森林でおおわれていたのが、現在は30%以下に減ってしまったのです。「公害」と森林減少の関係にはどんなことがあるでしょう？

- 3 解説A・Bを読んでみましょう。

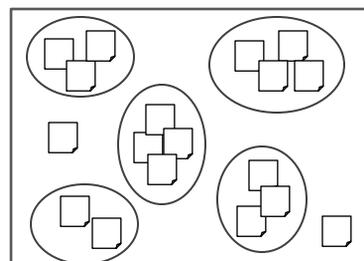
- 4 「公害」を発生させる原因を整理し、「公害」をなくすために必要なこと、できることを考え、グループごとにKJ法(*)で模造紙にまとめてみましょう。
模造紙ができあがったら、話し合いのプロセスや結果を、他のグループとも共有してみましょう。

*KJ法

多様なアイデアを持った人たちが集まった時、そのアイデアをすべてカードに書き出し、それを模造紙上で分類整理することで、共通点や相違点、傾向や全体像を把握しやすくする方法

手順

- 1 個々人のアイデアを、カード(付箋紙)1枚につき1つ書く
- 2 全員が数枚のカードを書いたら、模造紙上で共有を始める
- 3 最初の人自分のカード1枚を読み上げて模造紙に貼る
- 4 同じことを書いた人、似ていることを書いた人は、近くに貼る
- 5 次の人がまた別の内容のカードを読み貼る
- 6 4と5を繰り返す、最終的に、同じ内容のグループはマジックで囲み、タイトルをつける



KJ法

- 5 私たち一人ひとりにできることは、どんなことがあるでしょう？



A ポーランドの環境汚染

ポーランドは森林が減り、家庭や工場の出す廃棄物で、森林や川は汚れています。南部のカトーウィツェを中心とした工業地帯では、大気や川の汚れが深刻な問題となっています。さらに、工場が空中に出す有害物質が雨に溶けて降る酸性雨は、工業地帯だけでなく広い範囲に被害を及ぼしています。森の木が枯れたり、川や湖に魚がすめなくなるのです。

ポーランドを南から北へと流れる、この国最長の川ヴィスワ川の汚染も深刻です。上流にある工業地帯の工場排水や中流のワルシャワの生活排水（下水）などで汚れがひどく、公害をバルト海に流しているといわれるほどです。



B 工業化の負の遺産

長く続いた社会主義時代から受け継いだ遺産のひとつに、劣悪な状態の自然環境があります。社会主義政権は重工業に資金を投じたため、大気汚染や産業廃棄物などの環境問題が生まれました。しかし、政府は環境汚染対策を行いませんでした。現在も発電所や製鋼所で石炭を燃やしているため、ばい煙や二酸化炭素、二酸化硫黄などで大気が汚染されています。

ポーランド南西部のシロンスク（シュレジエン）地方には、ヨーロッパでも有数の石炭の産地があります。この石炭は硫黄分が少なく良質とされ、フィンランドやウクライナ、ドイツなどに輸出されています。またこの地方は、亜鉛や硫黄、銅などの鉱物資源にも恵まれています。そのため、製鉄、電力産業（火力）、化学工業など、ポーランド一の工業地帯として発展してきました。しかし、浄水処理が十分されない工場の排出物は、大気や川や森林を汚染し、公害が問題となっています。



C 環境汚染の対策活動

上記のような環境汚染に対して、美しい自然を守ろうとする活動が、いろいろなところで始められました。ワルシャワに現在では下水処理場ができ、今も2番目の処理場を建設中です。ポーランドはごみや落ち葉を集めるごみ収集車が走っており、そのおかげで町なかがかきれいに保たれています。また、日本同様にごみの分別もすすめられており、可燃物・金属・ガラス類の3種類に分けられています。ワルシャワのごみ処理工場では、ごみから肥料もつくられています。そして、森林保護を訴えるポスターをかいいたり、放課後に友だちとごみ拾いをしたりと、環境を守る運動は子どもたちの間でも広がっています。



D 日本の公害とその対策

日本では高度経済成長に伴い、各地で様々な公害問題が、そして1950～60年代には四大公害病が発生しました。公害とは、経済的利益の追求を目的とした社会・経済活動によって、環境が破壊されることにより生じる社会的災害のことです。環境基本法では、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭、地盤沈下を典型七公害と定めています。高度経済成長期に日本においては、イタイイタイ病・水俣病・四日市ぜんそく・新潟水俣病などの大規模な公害が発生し、公害源近隣の多くの住民の健康を長期的、または生涯に渡って奪い、生活を一変させてしまいました。1967年に制定された「公害対策基本法」は、事業者・国・地方自治体が公害の防止に関して責任を持ち、国民の健康保護と生活環境を保全することを目的に作られ、現在では環境基本法の一部として位置づけられています。公害だけではなく、地球環境問題への取り組みの重要性が認識される昨今、公的機関は上下水道の整備やゴミ分別、エコ活動の奨励、企業はCO₂排出削減対応のエコ商品やエコカーの開発・販売、太陽光発電などエコ・エネルギー商品の充実、個人レベルではマイバッグ、マイはし、マイカップなど繰り返し使えるものを持ち歩く、エコ商品を購入する、自転車で移動するなど、いろんな立場の人たちがさまざまな角度から協力しあって環境を守ろうとしています。



アウシュビッツ収容所

② 第二次世界大戦時、アウシュビッツ収容所では重大な人権侵害が行われていました。わたしたちはこの歴史から何を学び、何にいかすことができるでしょう。



1 まずは、こちらの文章を読んでみましょう。読み終わったら、グループで次のことを話し合ってみましょう。

- これはどのような状況で起こったことだと思いますか？
- この状況に置かれているのが自分だとしたらどうしますか？



彼らは労働にたえられる体力を持っている者と、そうでない者に分けられました。そして、働ける者は強制労働をさせられ、働けない老人や病人、子どもたちはガス室に入れられ毒殺されました。列車で運ばれてきたユダヤ人の70～75%が、そのままガス室に送られたといえます。

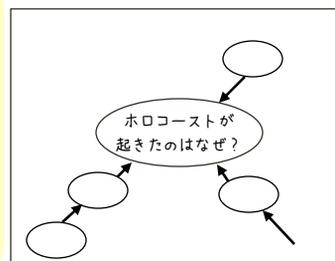
すぐには殺されなかった人々には、過酷な労働が待っていました。1日12時間以上の肉体労働に対して、朝食はコーヒーと呼ばれる苦い液体だけ、昼食は水のような野菜スープ、夕食は黒パンと薬草の飲み物といったひどいものでした。たえられずに何人も死んでいったそうです。また、病気にかかると医学用の人体実験に使われるか、殺されました。



- 2 ①の文章は、第二次世界大戦中のアウシュビッツ強制収容所というところで起きた事実です。更に深く知り考えるために、「情報シート」(次ページ)を読んでみましょう。(また、時間があれば、自分たちでも「アウシュビッツ」について調べ、それぞれが調べたことを共有しましょう。)
- 3 なぜ「アウシュビッツ」でホロコースト(大量虐殺)が起きてしまったのでしょうか?非人道的・非人間的なこのような事態が、一般市民を加害者・被害者として巻き込んでいった理由を、因果関係図(*)を使って考えてみましょう。その時代背景や当事者の立場によって、心理状態は異なるかもしれませんね。

*因果関係図

ある物事の結果とその原因をさぐる方法。その事柄が起きた原因だと思ふことを複数考え、中心に書いたお題の周りに1つずつ書き出す。さらに、書き出したことのそのまた原因だと思ふことを考え、次に書き足していく。このように、原因の原因をたどれるだけたどり、根本原因を見つけ出す。7つ以上の原因を広げて考え、1つに関しては3つ以上に深めて考えてみるのがポイント。



- 4 「戦時下という非日常の人間の極限の心理」という理由で片付けるとすれば、「アウシュビッツ」はくり返される危険性があります。世界が二度とこの惨禍をくり返さないために、私たちはこの忌まわしい歴史から何を学ぶ必要があるでしょう? この重大な人権侵害を二度とくり返さないために、大事だと思ふこと、必要だと思ふこと、自分ができるところを考えてみましょう。
- 5 ドイツやポーランドでは、戦争についてどのように教えられ、この加害を繰り返さないために、どのような教育がされているか調べてみましょう。



情報シート

● 第二次世界大戦勃発の経緯

1939年9月1日にドイツ軍が、続いて17日にはソ連軍がポーランド領内に攻め込みました。ポーランドの同盟国であったイギリスとフランスは9月3日にドイツに宣戦布告し、ポーランド侵攻は第二次世界大戦に拡大しました。ポーランドは独ソ不可侵条約によって分割・占領されました。そしてオシフィエンチム市を含むポーランドの一部はドイツ領となったのです。中央ポーランドは完全にドイツの支配下となりました。1941年6月にドイツがソ連に侵入したのをきっかけに戦争が始まり、結局ソ連の領土であった東部ポーランドもドイツ領となりました。その後もドイツは隣国をどんどん攻め入り、1941年秋にはヨーロッパほとんどを占領するまでになっていました。



● アウシュビッツ収容所の設立

第二次世界大戦でポーランドを占領したナチス・ドイツは、ポーランド国内に1000カ所以上の強制収容所をつくりました。ここにユダヤ人や政治犯などを収容して、強制労働させたり虐殺したりしていたのです。収容所の中でももっとも規模が大きかったのが、オシフィエンチムの収容所です。ドイツによって設立されたためオシフィエンチム市はドイツ語のアウシュビッツという地名に変更され、それが収容所で有名な地となり強制収容所の名になったのです。はじめの目的はポーランド人の政治犯を入れることでしたが、やがてソ連軍の捕虜や、ドイツ軍が占領したヨーロッパの各地から多数のユダヤ人が列車で送られてくるようになりました。アウシュビッツは、世界的にホロコースト(大量虐殺)、暴力の象徴になりました。

● ナチス・ドイツと収容された人たち

ナチス・ドイツは始終この収容所にポーランド人を送り続けていました。ここには町での手入れと強制退去の時に逮捕された人々が連行されていました。例えば、ドイツ人の生活領域とされたザモシチ地方から強制退去させられたポーランド人住人全員が家族単位で連行され、ワルシャワ蜂起の時にはワルシャワ市民もここに送られました。

ユダヤ人は、性別・年齢・職業・国籍と政治的思想を問わず“ユダヤ人である”という理由だけで殺害されました。新しく連行されてきたユダヤ人の大半が、選別で労働に適さないと判断され、ガス室で毒殺されたのです。老人・病人・妊婦・子どもには生き残る権利がありませんでした。そして彼らは収容所の囚人として登録もされず、囚人番号すら付けられなかったといいます。つまり、囚人番号を付けられた約20万人を超えるユダヤ人が収容所に入れられていたこととなります。

ナチスの思想の根本には、反ユダヤ主義・反民主主義・反共産主義とドイツ民族の優越がありました。また「人種的に純粋」な社会を築こうとし、ナチス・ドイツはユダヤ人の絶滅そしてスラブ人とジプシーとその他の民族の絶滅を計画していたのです。また、ポーランド侵攻の目的の一つは、ドイツ人が移住するための領土拡大がありました。当時のナチス・ドイツの指導者アドルフ・ヒトラーは「我々の戦争目的は、人を勝ち取るのではなく、農業に適する領域を勝ち取ることにある」と語りました。

アウシュビッツ収容所に連行された少なくとも130万人のうち、登録され囚人となったのは40万人でした。20万人のユダヤ人、15万人のポーランド人、約23000人のジプシー、約12000人のソ連軍の捕虜そしてその他の国民が約25000人でした。そのうちの50%が重労働、飢餓、死刑執行、病気・伝染病。極めて難しい環境と犯罪的な実験と懲罰と拷問によって死んだのです。また20万人近くの囚人たちがドイツ軍によってその他の収容所に移され、そこで多くの囚人たちが命を失いました。そしてアウシュビッツ収容所が解放された時には約7000人の囚人たちが残っていました。





ちょっとブレイク カトリシズムと宗教的「寛容さ」



「普遍的」な信仰がもたらしたもの

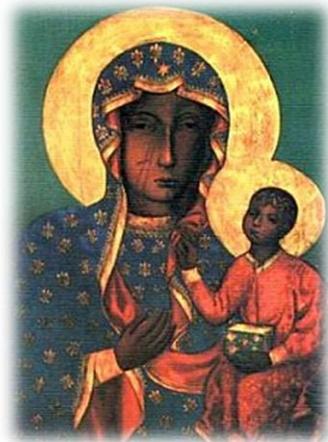
ポーランドは、建国のときからキリスト教を受け入れ、西欧カトリック文化圏に属してきた歴史があります。とくに、中世ヤギェウォ王朝時代のポーランド王国は、「ローマ・カトリックの東の雄」として、おおいに繁栄しました。また、ポーランド語の基礎になっているアルファベット文字や、中世都市に開花したルネサンス文化などは、もともとカトリックとともにポーランドに伝来したものです。さらに、近代に入りさまざまな国難にあったとき、多くの国民にとってローマ・カトリックはアイデンティティそのものでした。

現在でも国民の90%以上がカトリック教徒といわれています。ひとたびカトリック教会のとびらを開くと、聖なる「祈り」の場として、多くの人が熱心にミサに参列する光景を目にするでしょう。

けれどもポーランドには違う面もあります。プロテスタント教会、ロシア正教会、イスラム教のモスク、ユダヤ教のシナゴグ、復古カトリック教会、仏教寺院、新興宗教の会堂など、さまざまな宗派や宗教が排除しあうことなく共存しているのです。異なる信仰に対する「寛容さ」はポーランドの大きな特色といえます。事実、ポーランドはかつて一度も宗教戦争を体験したことのない、ヨーロッパでは珍しい国なのです。

ポーランドの伝統的宗教行事

ポーランド国民の「守り神」といえば、なんといっても「黒いマドンナ」とよばれるチェンストホーヴァの聖母マリアです。1655年、スウェーデン軍がポーランドを侵略し、ワルシャワ、クラクフが相次いで陥落したときも、ヤスナ・グーラ寺院は最後まで屈服することなく勝利を得たのです。「黒いマドンナ」のご加護があって奇跡的な出来事として、それ以来、人々の聖母像への尊敬と感謝の念が消えることはありません。8月15日の聖母マリア被昇天の記念大ミサに参加するため、8月初旬になると、ポーランド中からチェンストホーヴァを目指す巡礼者たちの旅がはじまります。



黒いマドンナ



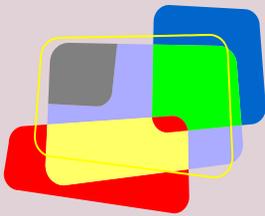
ピサンカ(色つきゆで卵)

また、復活祭(イースター)では前日にピサンカ(pisanka)と呼ばれる模様を描いた色つきゆで卵を、イースターバスケットに入れて教会に行き、聖水でお清めしてもらいます。そして復活祭当日、家族と一緒に朝食をとり、その席でポーランド人たちは聖別された卵を分かち合うのです。また翌イースターマンデーには、幸運を願って皆で水をかけ合います(地域によってはキリストの苦難の象徴である「茨」で叩き合う習慣もあります)。この他にも枝の主日や聖体節の祝祭で、独特の習慣や風習を見ることができます。



第4章

そして未来へ



ランキングで考える元気な地球のつくり方

① 今、日本は元気でしょうか？ 地球は元気でしょうか？



1 まずは、次のニュースを読みましょう。



日本のGDP、中国に抜かれ世界第3位に！

GDP (国内総生産) は国の経済力を表す指標で、その国で1年間つくられたものや提供されたサービスなどの金額をすべて合計した数字。内閣府が2010年2月14日発表した10年の日本の名目GDPがドル換算で5兆4,742億ドル (479兆2,231億円) となり、中国の名目GDP5兆8,786億ドル (39兆7,983億円) を下回り、世界第3位になりました。日本は1968年以来世界第2位の経済大国でしたが、43年ぶりにその座を明け渡しました。

2 では、P.33の資料を見てみましょう。国際通貨基金 (IMF) による2010年の「国内総生産 (GDP)」「人間開発指標 (HDI)」「国民総幸福度 (GNH)」の国別ランキング上位を表した表です。(→詳細P.32) A~Iにはどこの国が入ると思いますか？ また、①のニュースとこれらの表を見て、どんな感想を持ちましたか？ みんなで話し合ってみましょう。

3 では、これから日本はどんな国を目指していったらいいと思いますか？自分自身がどんな国で暮らしたいかを考え、次のカードの優先順位の高いものから下のように並べ、その理由も考えてみましょう。(下のカード以外に新しいカードをつけ加えてもOKです。)



経済力の強い国

食料自給率の高い国

古くからの伝統文化
を守り続ける国

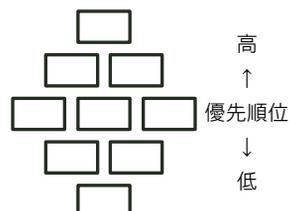
多様な人々を受け入れ
る多文化共生の国

平和な国

誰もが平等な国

自然豊かで環境を
守る国

誰もが高い質の教育
を受けられる国



4 グループでそれぞれが考えたランキングを共有し、その理由もお互いに伝えてみましょう。

5 グループで話し合ってみて、どんな感想を持ちましたか？全員で感想を話し合ってみましょう。

6 では、グループのみんなが暮らしやすい国を実現するために大切なことは何だと思いますか？「国が元気」というのはどういうことだと思いますか？ グループでまとめ、模造紙を2つに分けて、左半分には書き出してみましょう。

7 さて、みんなが⑥で書いた模造紙をもう一度見てみましょう。日本が元気になった時、日本以外の他の国は元気ですか？日本が元気になることで、他の国の元気を奪ってはいませんか？日本だけでなく、日本を含めた地球全体が元気になるために大切なことは何でしょう？⑥の模造紙の左半分には書いたアイデアにつけ加えたり修正したりするものがあれば、右半分には書き出してみましょう。

8 グループで考えたことをみんなで共有しましょう。

9 このアクティビティに正解はありません。これまでの作業を通して、どんなことを感じましたか？感想をみんなで話し合ってみましょう。



P.のこたえと解説です。



「豊かさ」の指標を通して、だれもが暮らしやすい社会とはどんな社会なのか考えよう。

- 2 A アメリカ合衆国 B インド C ドイツ
D ノルウェー E オーストラリア F ニュージーランド
G デンマーク H スイス I オーストリア

国の状況を表す様々なランキング

● 国内総生産 (GDP: Gross Domestic Product)

GDP (国内総生産)とは、日本の国内で、1年間に新しく生みだされた生産物やサービスの金額の総和のことです。GDPはその国の経済の力の目安によく用いられます。また、経済成長率はGDPが1年間でどのくらい伸びたかを表わすものです。経済が好調なときはGDPの成長率は高くなり、逆に不調なときは低くなります。GDPは市場価格をベースに計算されるため、物価の変動の影響をうけます。その物価変動を考慮しないものを「名目GDP」、物価変動を考慮したものを「実質GDP」といいます。例えば、2009年から2010年に名目GDPが100兆から200兆になったとしても、物価が2倍になっているとすると、実質GDPは100兆のままです。

GDPと似たものに、GNP (Gross National Product:国民総生産)があります。GDPが国内で新たに生産された物やサービスの付加価値の合計額であるのに対し、GNPは国内に限らず海外の日本企業の生産額も含まれます。以前はGNPがよく使われていましたが、最近では、国内の景気をより正確に測る指標としてGDPがよく使われます。また、GNPとほぼ同一のものとして、GNI (Gross National Income:国民総所得)があります。1993年の国連による勧告に基づき、日本政府が導入した国民経済計算の体系 (93SNA) では、GNPの概念を廃止し、GNIを導入しています。

経済産業省キッズページ

● 人間開発指標 (HDI: Human Development Index)

人間開発の3つの基本的な側面「健康で長生きできるかどうか」「知識を得る機会があるかどうか」「人間らしい生活を送れるかどうか」について、長期にわたる進歩の度合いを測定するための総合的な指標。国連開発計画が毎年発表している「人間開発報告書」で報告されますが、その内容は年々修正されています。2009年までは、出生時平均余命、成人識字率および初・中・高等教育の総就学率、そして米ドル建て購買力平価 (PPP) に換算された1人当たりの国内総生産 (GDP) に基づいて算出していましたが、2010年には新たな3項目が追加されました。それは、

◎ 不平等調整済み人間開発指数

健康状況と教育状況、それに所得の分配状況に関して、どの程度の不平等が存在するかに基づいて、国ごとのHDIの数値に修正を加えた指標

◎ ジェンダー不平等指数

女性の健康の水準と教育の水準、政治や職場への参加の度合いを考慮に入れて、国の中での男女の格差を把握し、同時に国家間の比較を行うことを目的とする指標

◎ 多次元貧困指数

健康、教育、生活水準など複数の側面における世帯レベルの貧困状況を把握するための指標

です。また、これまでの米ドル建てPPPに換算された1人当たりのGDPにかわって、米ドル建てPPPに換算された1人当たりの国民総所得 (GNI) を用いて、生活水準については算出されています。さらに、2010年の報告書のテーマは、まさに「国家の真の豊かさ」。HDIは、人間の「幸福」は金銭だけでは決まらず、みずから選択し追求するに値すると考える人生計画を実現できる可能性がどの程度あるかによって決まってくると考えています。

人間開発報告書2010

● 国民総幸福度 (GNH: Gross National Happiness)

ブータン王国のジグメ・シンゲ・ワンチュク国王が1976年、国際会議で提唱した国家建設の開発理念。「国にとって大切なのはGNP (Gross National Product、国民総生産) よりGNH (Gross National Happiness、国民総幸福量) なんです。ペットボトルの水がよく売れる国はGNPIは上がるが、自然破壊がなく、川の水が飲める国はGNHが高い。塾で疲れた子どもたちより、自然の中で遊べる子ども達の方が幸福度が高い。」ブータンは、独自の文化と徹底した環境保護政策から観光客が増加しており、1人当たりの国民所得は870ドルと、インドより大きくなっています。最近では、物質的な豊かさと精神的な豊かさを共に示す基準として、「基本的生活度合い」「文化の多様性」「感情の豊かさ」「健康」「教育」「時間の使い方」「自然環境」「コミュニティの活力」「良い統治」などGNH指標作りが、日本などの学者たちの中で進められています。P.33の表は2006年イギリスのレスター大学の社会心理学者エードリアン・ホワイト氏が、全世界約8万人の人々に聞き取り調査を行った各種国際機関 (ユネスコ、CIA、WHOなど) の発表済みレポート (100種以上) のデータを分析して行った「GNHランキング」です (イラクなどの紛争地域を除外した世界178カ国を対象)。なお、この調査で日本は90位でした。

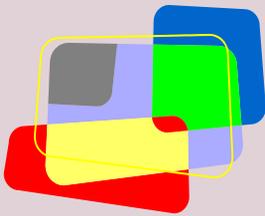
国内総生産 (GDP) [2010年]	
1	A
2	中国
3	日本
4	B
5	C
6	ロシア
7	ブラジル
8	英国
9	フランス
10	イタリア
11	メキシコ
12	韓国
13	スペイン
14	カナダ
15	インドネシア
16	トルコ
17	オーストラリア
18	イラン
19	台湾
20	ポーランド
21	オランダ
22	アルゼンチン
23	サウジアラビア
24	タイ
25	南アフリカ
26	エジプト
27	パキスタン
28	コロンビア
29	マレーシア
30	ベルギー

人間開発指標 (HDI) [2010年]	
1	D
2	E
3	F
4	アメリカ合衆国
5	アイルランド
6	リヒテンシュタイン
7	オランダ
8	カナダ
9	スウェーデン
10	ドイツ
11	日本
12	韓国
13	スイス
14	フランス
15	イスラエル
16	フィンランド
17	アイスランド
18	ベルギー
19	デンマーク
20	スペイン
21	香港 (中国)
22	ギリシャ
23	イタリア
24	ルクセンブルク
25	オーストリア
26	英国
27	シンガポール
28	チェコ共和国
29	スロベニア
30	アンドラ

国民総幸福度 (GNH) [2006年]	
1	G
2	H
3	I
4	アイスランド
5	バハマ
6	フィンランド
7	スウェーデン
8	ブータン
9	ブルネイ
10	カナダ
11	アイルランド
12	ルクセンブルク
13	コスタリカ
14	マルタ
15	オランダ
16	アンティグア・バーブーダ
17	マレーシア
18	ニュージーランド
19	ノルウェー
20	セーシェル



參考資料



目で見えるポーランド



この国旗は、ポーランドの伝説的な建国者が受けた「白い鷲が赤い夕日を背景に飛んでいるのを見たら、そこに国を築くように」という啓示をもとに作られました。18世紀末から消滅していたポーランドは、1918年の第一次世界大戦末に独立を回復させました。白は自由、赤はそのために流された血を表しています。

●人口● (2008年)

 38,104,000人



 127,293,000人



●面積●

 3,230,000km²
(日本の約5分の4)

 377,944km²



●気候帯●



北西部: 西岸海洋性気候
東部国境 山岳地帯: 冷帯
湿潤(混合林) 気候

●民族●

ポーランド人
(人口の約97%)

●通貨●

ズロチ



●言語●

ポーランド語



●宗教●

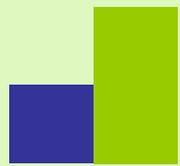
カトリック
(人口の約90%)



●平均気温●



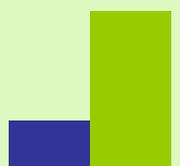
ワルシャワ 名古屋
8.1℃ 16.4℃



●年間降水量●

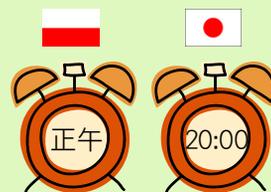


ワルシャワ 名古屋
513.9mm 1,580mm



●日本との時差●

-8時間



◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修 (Gakken) ◆面積・首都・民族・通貨・言語・宗教:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆人口:世界子供白書2010(ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計2010」 ◆気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 ◆名古屋の平均気温・年間降水量:愛知県ウェブサイト「一ポケット情報あいち-土地・気象、人口、農林漁業、事業所」 ◆日本との時差:『世界の国一覽表2007年版』(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

食品 自動車 金属 化学製品 燃料



●日本との貿易主要品目●



自動車部品、人造黒鉛



自動車、自動車部品、映像機器等

●一人あたりのGNI●

(2008年)



11,880米ドル



38,210米ドル



●出生時の平均余命●

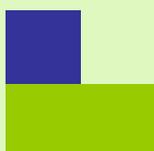
(2008年)



76年



83年



●在留邦人数●

約1,299人(2009年10月現在)



●在日当該国人数●

約1,000人(2009年12月末現在)

●5歳未満児の死亡者数●

(出生1000人あたり)

(2008年)



7人



4人

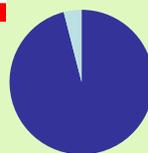


●初等教育●

●純就学/出席率●
(2003~2008年)



96%

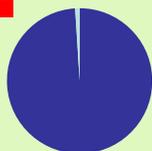


●成人の総識字率●

(2003~2008年)



99%



●都市人口の比率●

(2008年)



61%



66%



●人口増加率●
(2000~2008年)



-0.1%



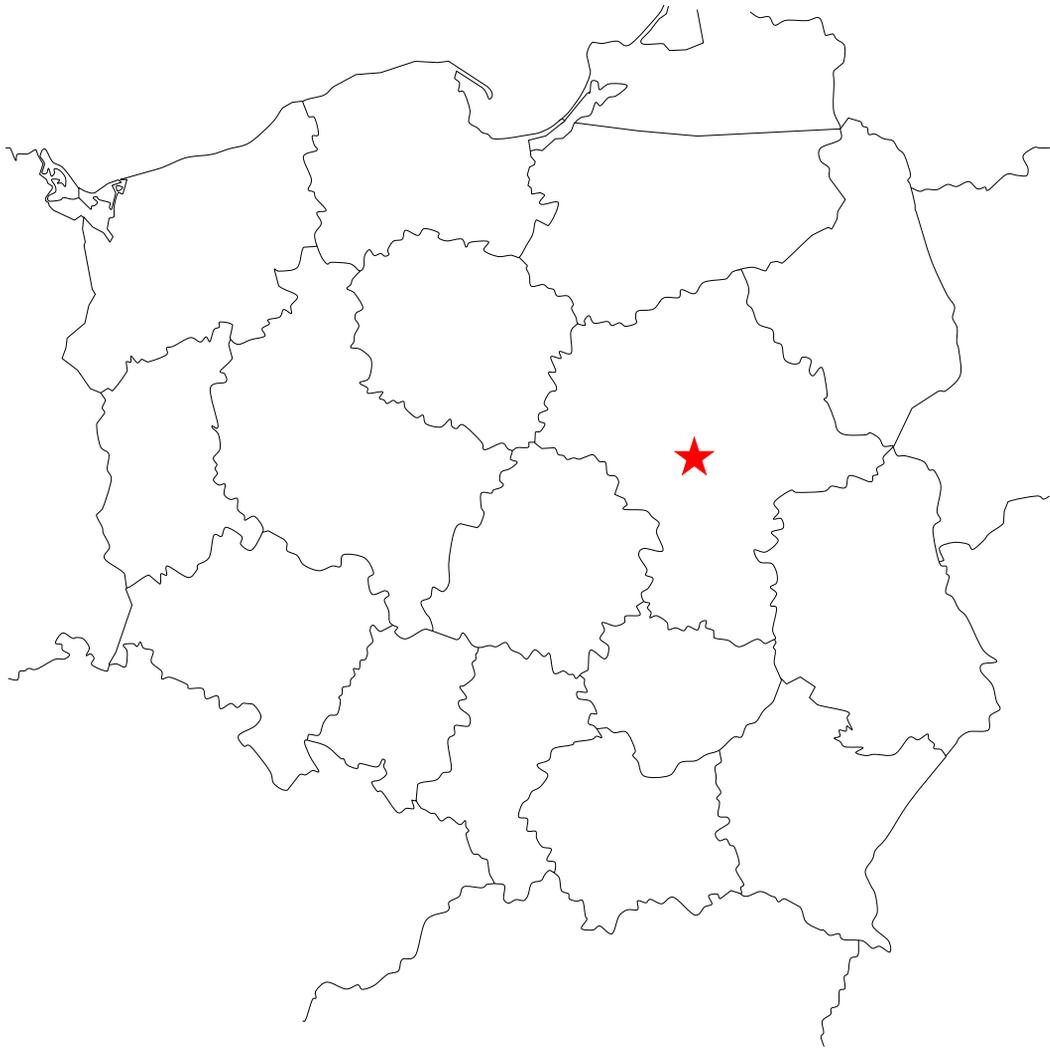
0.1%



◆主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日当該国人数：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 ◆一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率・人口増加率：世界子供白書2010(ユニセフ)

ポーランド地図





ヨーロッパ





参考文献・データ等の出典

- 外務省「各国・地域情勢」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 外務省「探検しよう! みんなの地球」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyuu/index.html>
- 総務省統計局「日本の統計」
<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2010」
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 旅行のとも、ZenTech
http://www2m.biglobe.ne.jp/~ZenTech/world/map/Poland/World_Heritage_Site/index.htm
- ポーランド政府観光局公式サイト <http://www.poland.travel/ja/>
- ポーランド料理 <http://www.e.okayama-u.ac.jp/~taguchi/kansai/ryouri.htm>
- msn.産経ニュース <http://sankei.jp.msn.com/world/news/>
- 『ナショナル ジオグラフィック 世界の国 ポーランド』ザイラ・デッカー 著 ほるぷ出版
- 『世界各地の暮らし-16 ポーランドの暮らし』吉田忠正文・写真 ポプラ社
- 『きみにもできる国際交流21 チェコ・ハンガリー・ポーランド』こどもくらぶ編・著 偕成社
- 『目で見る世界の国々-29 ポーランド』トム・ストライズグス著 国土社
- 『アウシュビッツ・ビルケナウ その歴史と今』テレサ・シフィエポツカ、ヤドヴィガ・ピンデルスカ=レフ、ヤルコ・マンズフェルト著 Grafikon社
- 『ポーランド便覧 2008』ポーランド共和国外務省広報局発行
- 『ポーランド』いしかわようこ 編集・文 ポーランド政府観光局発行

ご協力いただいた方たち【敬称略】

- 吉岡嗣晃
- 高田真衣
- 中尾勇氣



2010年度教材作成チーム

安城市 犬山市 江南市
新城市 あま市 長久手町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

財団法人 愛知県国際交流協会

世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 **ポーランド共和国** 

2011年3月

**発行
編集**

財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

駒田印刷株式会社



